

上島町学校適正配置基本計画

～子どもの夢を育む学校の在り方について～

令和8年4月

上島町教育委員会

I 計画策定にあたって

上島町教育委員会は、令和3年の第1期上島町学校の在り方検討委員会に続き、令和7年3月16日付けで、第2期上島町学校の在り方検討委員会（以下「第2期検討委員会」）を招集し、将来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境の整備について、協議を再開いたしました。

第2期検討委員会では、上島町における学校の現状を踏まえて、学習方法や学校活動等の在り方、諸問題等を協議しながら、統廃合を含めた学校の適正配置について議論され、取りまとめられました。

最終提言として、令和7年12月22日に、これからの上島町における望ましい学校の在り方について『上島町学校の在り方検討委員会提言書』が上島町教育委員会へ提出されました。提言書には、上島町における学校適正配置について、統合による適正規模の確保についての提言が示されています。

子どもたちが歩むこれからの時代は、急速に進化するテクノロジーやグローバル化に囲まれた社会で、生成AIや自動化が進み、単純な作業は機械にとって代わる一方で、批判的思考や情報リテラシーの力が不可欠となり、自己管理能力が求められるとされています。さらに、地球規模での環境問題や社会問題に向き合う中で、持続可能な社会を築くための意識も必要になります。

先行きの見えにくいこれからの時代を生き抜くためには、子どもたちが自分で考え、他者と協力しながら課題解決に取り組む「協働学習」や「探究学習」が重視されます。そのためには、子どもたちが相互に学び合いができる学習環境や一定の集団での学習活動が必要不可欠となっています。その中で、子どもたちは単に知識を学ぶだけでなく、自分らしく、そして社会と調和しながら生きる力を身に付けていくことが求められます。

今回の学校適正配置基本計画の策定過程では、上島町の小中学校の現状として、各小中学校の今後の児童生徒数と学級編成、教職員配置数、学校施設状況などを把握した上で、各学校の特色や良さを認めながら、小規模校のメリットとデメリットについても多様な観点から協議を重ねました。また、各小中学校PTA、各保育所保護者会等での情報収集や話し合いを重ね、意見を集約してきました。

そうした中、将来を担う子どもたちが、夢を育み生き生きと学ぶために、持続可能で、望ましい教育環境の整備と充実を目指して、本基本計画を策定いたしました。

Ⅱ 具体的な学校適正配置基本計画の内容

学校適正配置の基本計画及び実施年については、以下のとおりとする。

- 1 弓削小学校・生名小学校・岩城小学校
令和10年度に、3校を1校に統合する。統合校として、弓削小学校の施設を活用することとする。
- 2 弓削中学校・岩城中学校
令和11年度に、2校を1校に統合する。統合校として、弓削中学校の施設を活用することとする。
- 3 魚島小・中学校
今後も、離島留学制度（さざなみ留学）を活用して、小中一貫型学校として学校存続を図る。

統合校の設置場所については、通学距離や時間への不安、地元（各島）の学校への愛校心から、可能な限り残してほしいという意見もあったが、各施設の耐用年数を考慮し、既存施設を最大限活用する。

また、学校統合に当たっては、児童生徒の学習環境を最優先に考え、統合による変化を最小限に抑えることとする。

なお、学校統合はやむを得ない選択である一方、地域の教育・文化の拠点としての役割を維持するため、地域と学校が協働して児童生徒を育む体制を更に強化する。

Ⅲ 学校統合に係る教育委員会・学校等の今後の方策

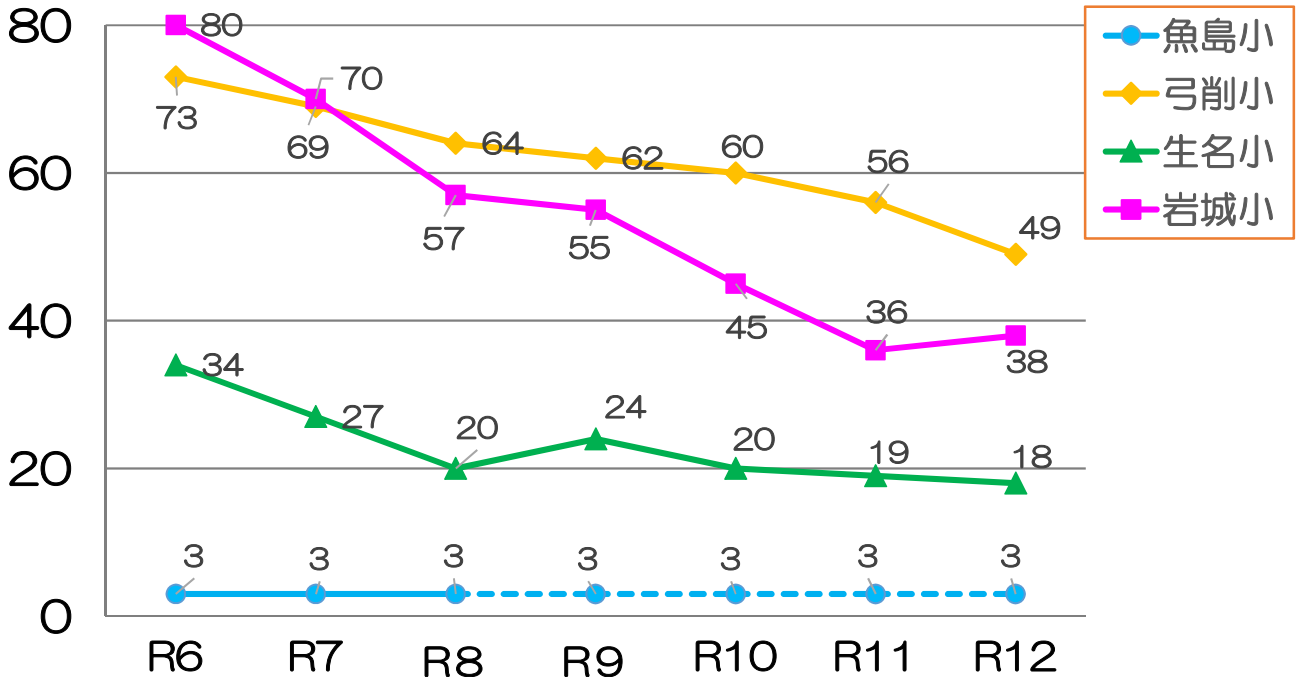
学校統合に係る今後の方策として、以下の調整を行う。なお、必要な協議を行うため、統合準備委員会を設置する。

- 1 学校統合に向け、校名等、新学校の運営等に関する詳細について、協議・調整する。
- 2 統合によって通学距離が延伸する児童生徒が生じるため、あらゆる通学手段を検討し、通学時間を考慮した運行体制の充実が不可欠である。小学校における課外活動や中学校における部活動後は、帰宅手段を確保することを検討する。また、通学バスの安全な乗降場所の確保、通学路の安全点検、登下校時の見守り、始業時間の検討、災害時の対応といったハード・ソフト両面の対策を講じる。

- 3 統合校では少人数指導の利点を活かしつつ、教科指導や探究的学習、部活動等を充実できる教育体制を構築する。また、中学校統合後は小中連携を一層強化し、9年間を見通した教育課程編成を行う。
- 4 学校統合により教育・文化の拠点機能が縮小しないよう、PTAや学校運営協議会等を通じて、地域と学校の結び付きを維持・強化し、地域住民が引き続き児童生徒の成長を支える体制を確保する。
- 5 児童生徒の安全・安心を最優先に考え、身体的・精神的負担軽減のための対策を徹底する。また、災害時については、複数の事態を想定した具体的な対応計画を策定する。さらに、統合に伴う不安やストレスに対応するため、相談体制をより一層充実し、一人一人が安心して学校生活を送れる体制づくりを進める。

今後の小学校の児童数

R8.4.1 現在

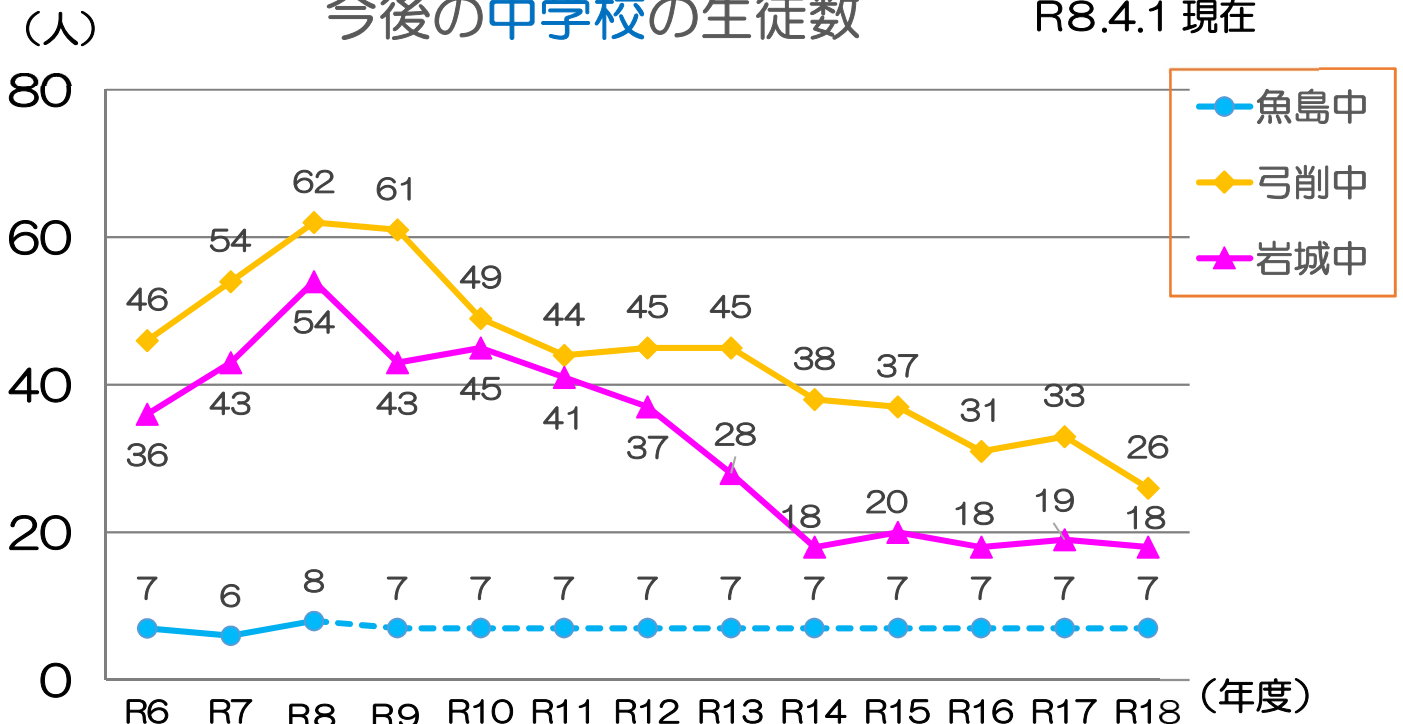


総合計	190	169	144	144	128	114	108
複式学級数	5	4	6	5	6	8	8

複式学級数は、統合をしなかった場合の合計数。

今後の中学校の生徒数

R8.4.1 現在



総合計	89	103	124	111	101	92	89	80	63	64	56	59	51
-----	----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----

魚島小・中学校については、さざなみ留学の募集状況により変動する。

学校施設状況について（全て鉄筋コンクリート造）

令和7年4月現在

		魚島小	魚島中	弓削小	生名小	岩城小	弓削中	岩城中
校舎	延床面積	1857.07㎡	709.00㎡	4,777.05㎡	3,648.78㎡	2863.98㎡	2,720.71㎡	2,896.46㎡
	建築年	S39.3	H5.3	S62.2	H4.3	S42.5	H16.8	H1.2
	耐用年数	60年（47年）	60年（47年）	60年（47年）	60年（47年）	60年（47年）	60年（47年）	60年（47年）
	更新年	R7（H22） ※H22.11 耐震補強工事完了	R35（R21）	R29（R15）	R34（R20）	R10（H26） ※H23.1 耐震補強工事完了	R47（R33）	R31（R17）
屋内運動場延床場面積		447㎡		966.97㎡	748㎡	440㎡	町施設	町施設
運動場面積		1,736㎡		9,907㎡	2,330㎡	7,220㎡	6,624㎡	6,939㎡
普通教室		0室	4室	8室	6室	8室	4室	5室
特別教室等		図書室 算・教資料室 教科学習室 多目的教室2 （旧理科室） 技術室 音楽室 美術室 家庭科室 保健室 （旧職員室） （旧校長室）	コンピューター室 多目的教室1 多目的ホール 児童生徒会室 理科室（準備室）	図工室（準備室） 音楽室（準備室） 家庭科室（準備室） 理科室（準備室） キッズステーション 英語教室・相談室 児童会室 図書室 コンピュータ室 スタジオ、放送室 児童会室 生活科室 ランチルーム 会議室 資料室 マルチ・ホール1階 マルチ・ホール2階 マルチ・ホール3階	図工室（準備室） 音楽室 家庭科室 理科室 相談室 外国語室 児童会室 図書室 コンピュータ室 放送室 会議室 資料室 多目的ホール1階 多目的ホール2階	図工室（準備室） 音楽室 調理室 家庭科室 理科室 外国語室 児童会室 図書室 パソコン室 放送室 多目的室 資料室	美術室（準備室） 音楽室 技術室 コンピューター室 図書室 被服室 調理室 理科室（準備室） 多目的室 放送室 相談室 教育相談室2 少人数教室 資料室 デジタルホール	美術室（準備室） 音楽室（準備室） 技術室（準備室） コンピューター室（リ） 図書室 被服室（準備室） 調理室（準備室） 理科室（準備室） 多目的ホール 視聴覚室 教育相談室 会議室 生徒会室 礼法室 資料室

*平成15年3月31日：魚島小学校と弓削小学校が統合

*平成20年4月3日：生名中学校と弓削中学校が統合